

神戸・画人 1

小磯良平

〈洋画家〉



こいそ りょうへい
一九〇三／神戸に生まれる 一九二二／神戸二中を
卒業 東京美術学校西洋画科に入学 一九二八／渡
仏 一九三二六／新製作派協会を結成。以後日本洋画
壇の巨匠として活躍。その豊かな女性像は人気が高
い。昨秋文化功労賞を受賞され、益々画境に磨きが
かかる今日この頃です。

私のコスチューム

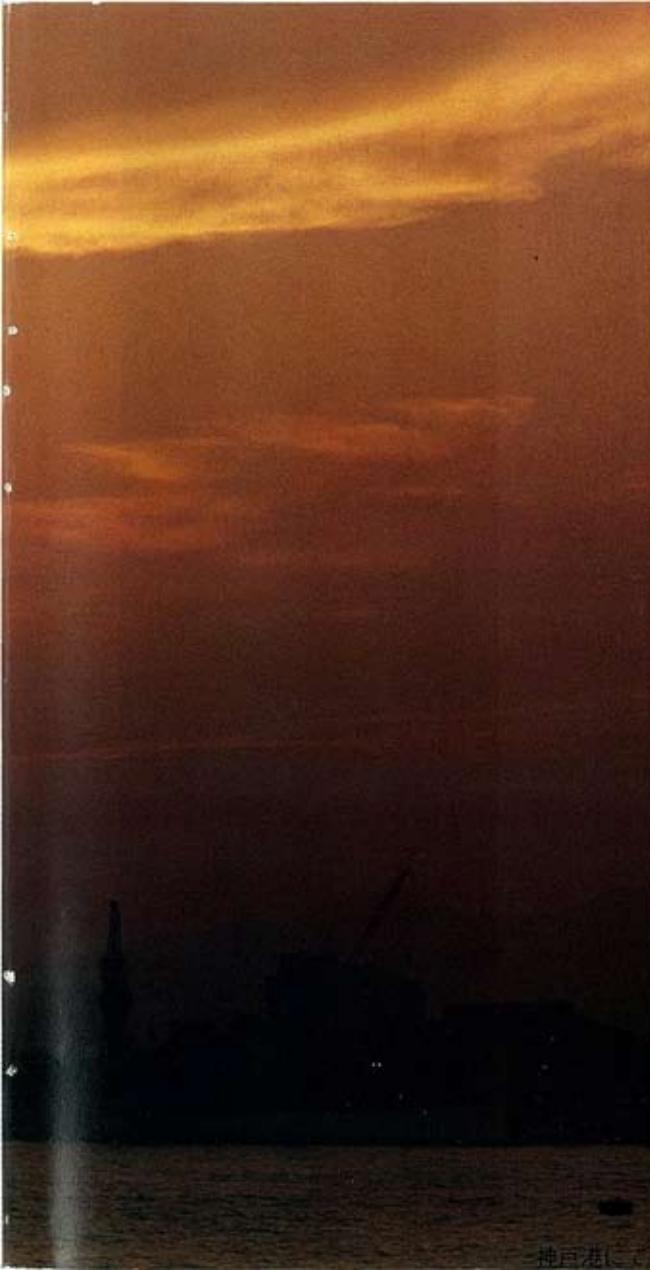
コスチュームと云う言葉を用いる場合の私の頭には、現在の女性の服装は関係が無い。私の頭には若い頃からみている欧洲の繪画の服装が、コスチュームと云う言葉を通してイメージが浮かんで来る。時代に関係はない。例を静物にとつてみても、シャルダンの静物であつたりセザンヌの静物であつたりと云う物のみかたをするわけである。だから私の描く婦人のコスチュームは時代不明の場合が多い。何処かコローの描く女の服装であつたりドガやマネの描く婦人の服装であつたりするのである。

私の親戚すじの伯母さんの姉さんが、明治中期にカナダの公使夫人であつた頃のコスチュームを譲り受けて、近頃よくそれを描く機会があるが、それも時代に関係ない私の流儀からの取りあげ方である。ボロボロになつてしまつたがコルセットのように胸をしめつけるための鯨のヒゲが縫い込んである手間のかかつた仕立てである。

今、一つのコスチュームの場合、六・七年も前の事であるがフランスの婦人をモデルにお願いして描いたもののなかに、クラシックなコスチュームをその婦人に考えてもらつてこしらえたのが一枚ある。それもその仕立てあがりに欧洲の人でなければならぬ氣の配り方があつて、日本の服飾家にみてもらつた時に、その事を指摘しておられた、という事があつた。

その様に考えてくると私の描くコスチュームは無茶苦茶な特殊なものと考えて頂いて結構である。

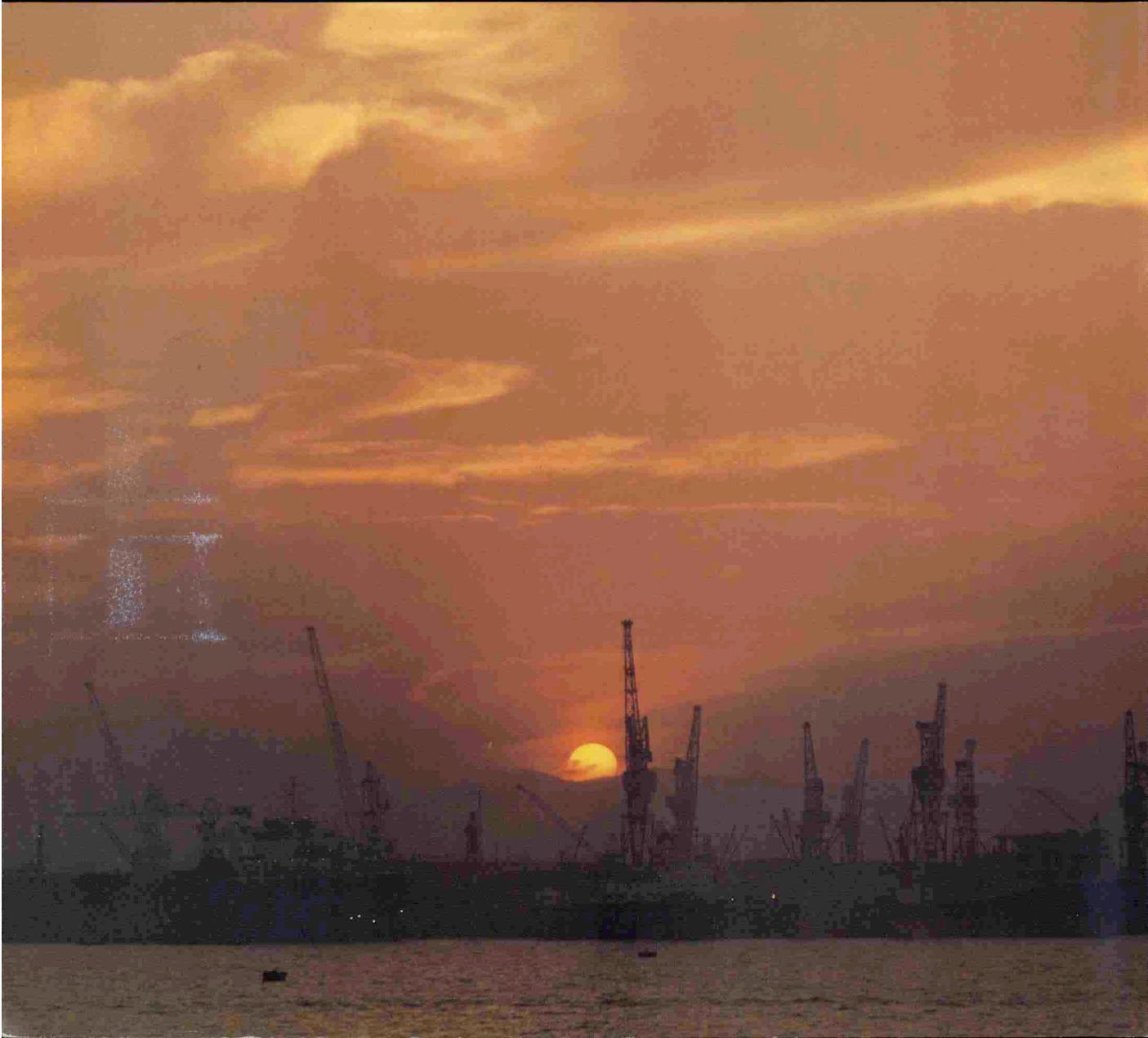




堀内初太郎

神戸の風色

夕 1
日





A HAPPY NEW YEAR

新年は1月7日より平常通り営業いたします。
営業時間午前10時から午後7時 年中無休

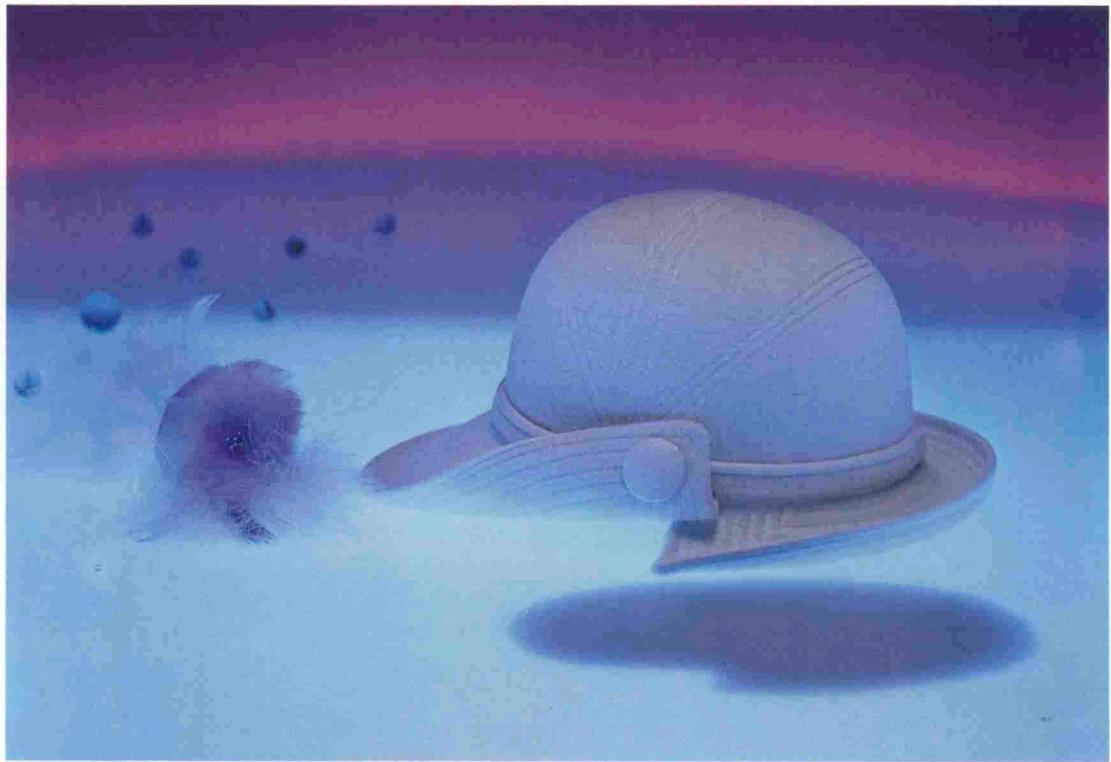
最高の品質と信用を誇る毛皮専門店
ペニ一毛皮店

神戸市東灘区御幸通8 神戸国際会館1F
TEL 078-221-3327

左：カナディアンセーブルジャケット (MADE IN U.S.A.)
右：ロシアンセーブル8分ゴート (MADE IN U.S.A.)

Stylist / Chie Oshima PHOTO / Y. Sugio 協力 / マキシム ST. ジョージジャパン

あけまして あめでとう ございます 1980元旦

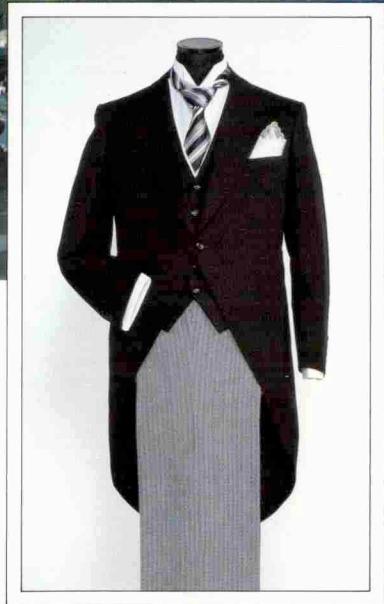
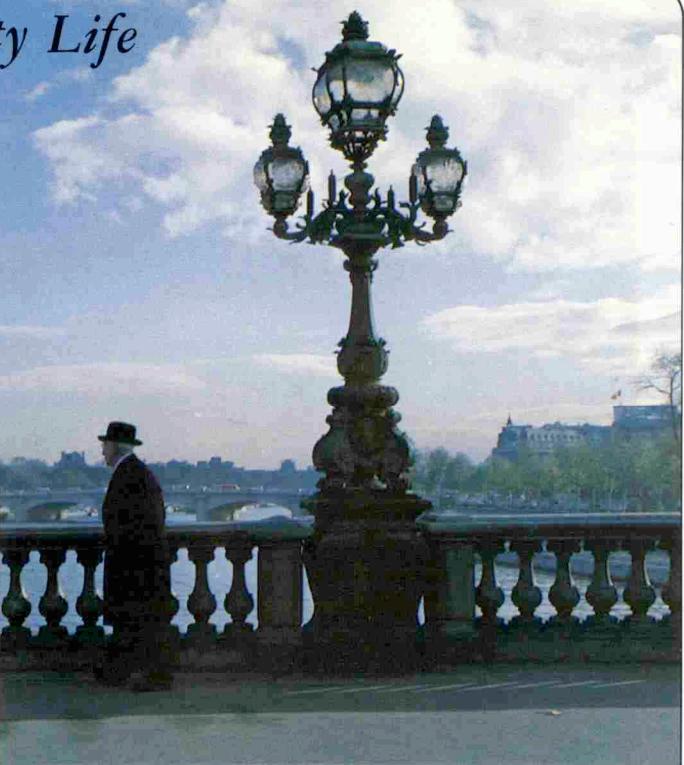


婦人帽子

マキシム
maxim

神戸市生田区北長狭通2丁目8(トアロード) TEL.078-331-6711~3
東京店/品川区西五反田 TEL.03-494-3129~30

Most Beautiful Quality Life



A HAPPY NEW YEAR

創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL(078)341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL(06) 231-2106

A ● HAPPY
NEW ● YEAR ● '80



新しい年を迎えて
何かしら心ひきしまるものを
感じるのは、
現代を生きている女性の証拠。

そんな女性のために、と
今年もムラタはより優れた
ファッションを提供いたします。
どうぞよろしくお願い申し
上げます。

真珠・貴金属・毛皮・輸入婦人服

Q ムラタ

さんちかレディスタウン
(神戸市生田区三宮町1丁目1)
☎ (078) 391-3886

本社

(神戸市生田区元町通6丁目35の2 明邦ビル)
☎ (078) 341-8041

謹賀新年



世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE UNE

本店・神戸元町1番街・078-331-3112

別室・元町1丁目(穴門筋)・078-332-2800

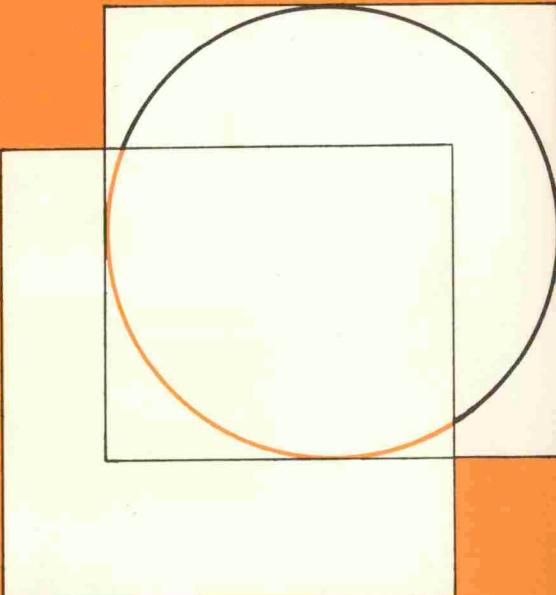
東急百貨店・渋谷店・日本橋店・札幌店・吉祥寺店・東横店

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

新年号目次 1980・No.225

表紙／小磯良平
セカンドカバー／僕の見た神戸(13)／西村 功

- 9 第4回神戸文学賞受賞者／高木敏克
11 第4回神戸女流文学賞受賞者／田口佳子
13 ある集い／神戸商工会議所国際委員会
15 コウペスナップ
16 新企画／神戸／画人1／小磯良平
18 新企画／神戸の風色1／堀内初太郎
29 私の意見／塩谷忠男
31 隨想／元永定正／山田昇一／岡田嘉夫
34 ある集いその足あと／山本博男
36 運載エッセイ／私のひろいもの(13)／竹中 郁
38 新連載／神戸歳時記1／三枝和子
40 甲南女子大学と神戸(終)／鰐坂二夫
42 インタビュー／中内功ダイエー社長をたずねて
44 新春鼎談／神戸が先取りする80年代の都市像
坂井時忠／奈良本辰也／田口寛治
50 ポートアイランド情報・7
53 第4回神戸文学賞同女流文学賞発表
54 第4回神戸文学賞・同女流文学賞選考委員会
足立巻一／小島輝正／森川達也／島 京子
59 経済ポケットジャーナル
60 ヤングペーン・国際文化都市神戸を考える
神戸の未来をつくる博覧会に向って翔ぶ
渡辺祥夫／安岡利美／岡本光弘／菱井良一／遠藤 浩
66 地域文化論5／アメリカの四研究所を視て／米花 稔
69 ノコちゃんの華麗なる食べある記(13)／小山乃里子
72 連載マンガ・パントマイムジュンスII／岡田 淳
76 KOBE FASHION SPOT
82 アンド・神戸／小磯良平／文・竹中 郁
86 NEUE MODE MARCHEN・25／篠原順子
113 神戸の催し物ご案内(1月)
114 動物園飼育日記(10)／亀井一成
117 神戸の集いから
122 六甲山コース29雄岡山雌岡山／新谷琢紀
30 二本松林道／高橋 孟
126 話題のひろい[1]星和台ファミリーホームオープン[2]神戸二紀女流新人展
128 神戸を福祉の町に(73)／橋本 明
130 K・F・Sニュース
132 インタビュー／美しき絆を歌い続けたい／谷村新司(アリス)
136 ファッションレポート／インドサリーのファッショショーン
138 私の映画手帖25／淀川長治
140 女体自景89／バスの女／細川 竜
142 びっといん
144 ポケットジャーナル
147 神戸百店会だより
148 新連載小説／影と棲む(第4回神戸女流文学賞受賞作品)
田口佳子 絵／田中徳喜
154 新連載小説／溶ける闇(第4回神戸文学賞受賞作品)
高木敏光 絵／木村光佑
159 トーク&トーク・トラベルコーナー
176 再びアルファベットアベニューの「H」／新井 满・石阪春夫
178 海 船 港／ロイヤルバイキングシティ



A Happy New Year

KITANO CLUB ON
KITANO HILLS



あけましておめでとうございます
本年も倍旧のお引立てをお願い申し上げます

昭和55年 元旦

年中無休駐車場有
元日より平常通り
営業いたしております



Kitano Club

レストラン ナイトクラブ

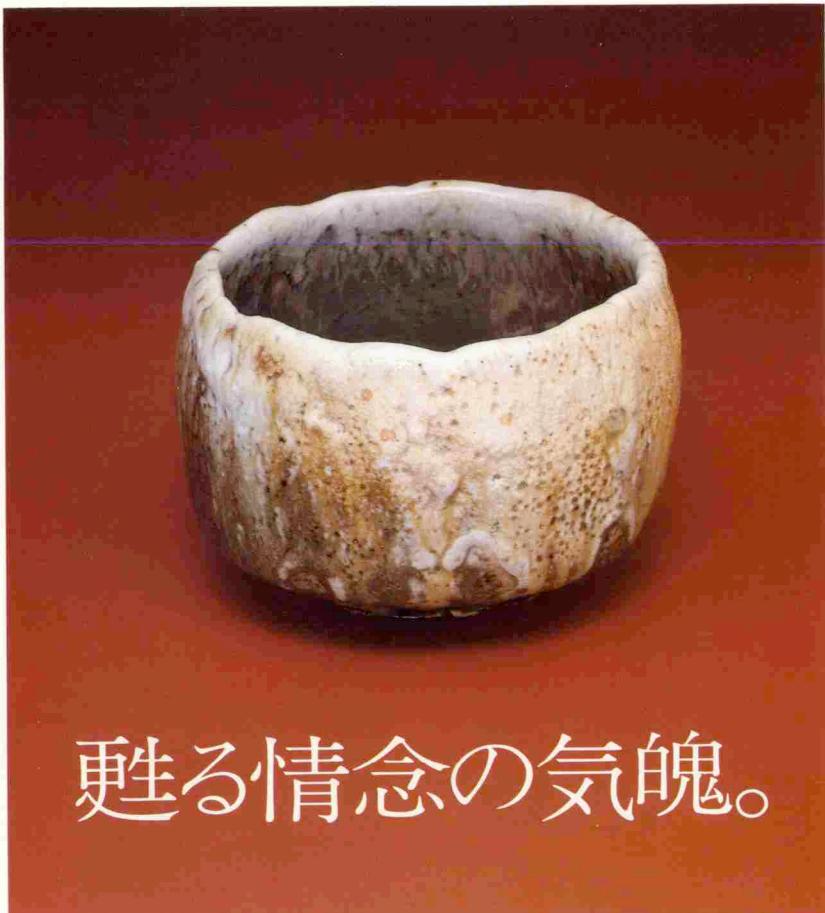
北野 クラブ

神戸市生田区北野町1-64 ☎ (078) 231-2251

**restaurant
Blanc de Blanc**

レストラン ブラン ドゥ ブラン 神戸

神戸市生田区京町77-1神栄ビル7F ☎ (078) 321-1455



甦る情念の気魄。

《そごう》が選んだ

陶芸の美

題字 望月美佐

1月の 画廊催しご案内

●美術画廊(6階)

●12月31日(金)→1月9日(木)

宮下寿峰新春美人画展

●1月12日(土)→17日(木)

□第13回
一松会新春名流書道展

●1月18日(金)→23日(木)

肥前陶芸作家選抜陶芸展

●1月25日(金)→30日(木)

名利高僧墨跡展

※写真作品についてのお問い合わせは、
6階美術画廊(内線655)までご連絡
下さいませ。



頌 春

お慶びの日をより華やかに——。



結納儀式用品

遠藤福寿堂

神戸市長田区菅原通4丁目1 TEL 575-2251(代)

☆私の意見

都市に 美しさを

塩谷 忠男

△太陽神戸銀行頭取▽



イギリスは紳士の国というけれども、街を歩いている人々の服装は大変質素だし、日本人の方がずっとおしゃれのように見える。イギリスだけでなく、ヨーロッパの街を歩いてみると同じような印象を受ける。

ところが、空港から都市へ向うにしたがって、何ともいえない豊かさを感じる。道路の広さ、街並みの美しさ、豊かな緑など、とても我が国の比ではない。自然と人工の美をうまく調和させながら、年月をかけて作りあげた都市の美観というのだろうか。国民所得では、自由世界第二位というわが国だが、俄か作りの建物同様、都市計画に統一とか調和といったものがないため、都市の美しさに厚みというものが感じられない。

高度成長のおかげで、自動車とか電気製品、衣服など個人の生活面ではおそらく世界でも指折りの高い水準に達していると思われるが、下水道とか都市公園、道路舗装率などの社会的施設では全く見劣りがする。英國病など悪口をいわれるイギリスでも、ロンドンの市内や郊外のあの広大な公園を一目みれば、真の豊かさとは一体何だろうと考えたくなる。

一人当たりの公園面積（五一年現在）をみると、ワシントンの四五・七平方メートル、ロンドンの三〇・四平方メートルに対し、東京都（区部）は僅かに一・五平方メートルに過ぎない。下水道普及率（五〇年現在）でもイギリスの九四%、西ドイツの七九%に対し、わが国は二三%に過ぎない。生活文化施設に関する限り、まことに粗末という外ない。

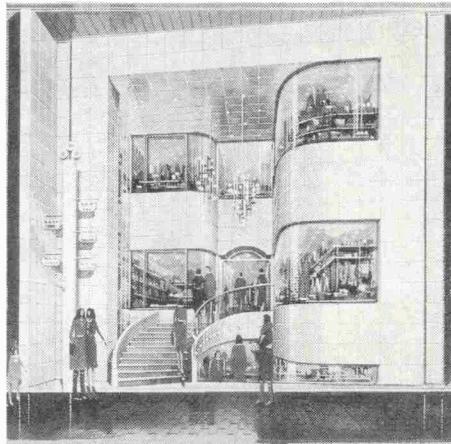
わが神戸市は、他の都市と比較して、山と海という自然条件ではきわめて恵まれた環境であり、宮崎市長のすぐれた都市経営の手腕もあって、比較的整備された美しさをもつてていることは嬉しいことだが、これをもつと美しくして日本一の都市にするためには、市民一人一人の美観に対する意識と協力がさらに必要となる。自分の庭を大事にする以上に街を美しくしたいものである。



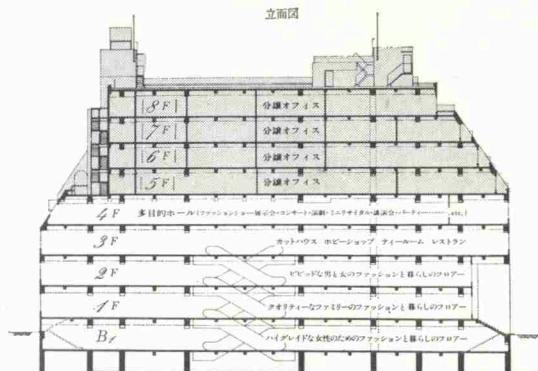
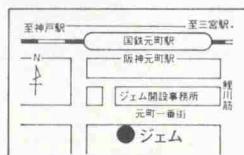
1980年9月open予定
・ジェムテナント募集!

しにせの元町一番街の
専門店へ仲間入り
新しくパーソナルに…

80年代のKOBE元町 ファッションスペース **ジェム**



当社所有賃貸部分 地下1階～地上4階
賃貸部分の名称 ファッションスペース「ジェム」
賃貸主 株式会社ジェム
賃貸面積 15,20m² (4,60坪)～114,98m² (34.78坪)
総区画数 24区画
テナント内装着工予定期 昭和55年7月上旬
オープン予定期 昭和55年8月下旬(秋物にてオープン)
管理会社 株式会社ジェム
内装管理 金丸建築設計事務所



●地下1階、1、2、3階は「ファッションスペース」です。
●4階は、神代でもルーチーな多目的室、会議室などを備えています。

●1～3階は「オフィス」です。
●5～6階は「オフィス」です。

・お問い合わせは

株式会社 ジェム

〒650 神戸市生田区元町通2丁目181
元町一番街山側角コトブキ西隣り
TEL 078-392-1234 係/安達昭三

隨想



カット 元永 定正

駄作と時間のことなど

元永 定正

△画家▽

七九年もまたいくつかの個展やグループ展や版画の制作や、私の絵に関係する諸々の仕事をしながら忙しく通りすぎた。八〇年の今も同じような繰返しがあるのだろうと考えられるのだけれど、展覧会というものは作品がたくさん出来たからということで発表するのが自然なのだがこの頃のように年間十数回から二十九回ぐらい発表しているとなかなかそもそも行かなくなつて展覧会の開催日に追われて四苦八苦ということになつてく

る。こんなことは純粹でないと悩んでみたり、俺は天才やさかいに何んとかなるわいと楽天的に考えてみたりしているうちに時間はどんどん過ぎて行く。考えてばかりいても作品が生れないでなんとか早く描けて面白い作品が出来ないものかとずるがしこく考えたがそのうち一つの結論に到達した。それは駄作をつくったらよいのでないか、ということである。駄作でもよいのだったら、と考えてしまふと気分が楽になつて仕事がはかどるのである。タイトルは元永定正駄作展としよう。これはよい考えが浮んだ、と我ながら悦に入る。そうすると、不思議なことに駄作どころか面白い作品が出来てくる。不思議なことについてたけれどこれは不思議でも何んでもない。気持が楽になると世間のことなど気にしないで勝手が出来て何でも作品にしてしまう。絵は

この様に描かねばいけないといつた規則があるるとわかつていても、やつぱり少しでもよいものを発表し続けねばいけないと考えてどこかで自分自身をしばりつけていた。またよい作品というものは過去の基準が私のどこかに潜在して、それを破ることは新らしい作品が生れることにつながつてくといえるだろう。逆説的な言いかただけれど駄作でもよいと考えることは傑作を生む一番よい考えではなかろうか。傑作ばかり描こうと思ってみても出来るわけでもなしといつて見ればなおさらよくわかる。私の駄作論をかいてしまつたけれど結局これは私の方便である。不思議だと思つてることは過ぎて行く時間である。どうなることかと思つていた個展や版画の制作やいろいろなことが現実のことになつてそしてまた次々と過去の時間になつてゆく。未来はすぐになつて過去になつて行く。ミライゲンザイカコミライゲンザイカコと秒針のようにいつでもどこかで声が聞えてくるようだ。この文章をかいていても始めから終りまでペンのさきから時間が次々と流れて行く。時間とはいつたといふ何なのか。勿論生物も含め

て自然はみな例外なしに時間の乗りものに乗っている。人類が消滅して地球も太陽も無くなってしまつても時間はどこまでもどこまでも果てしなく流れ行く。ミライゲンザイカコミライゲンザイカコミライゲンザイカコ……その中で駄作も傑作も生れてくる。

■元永定正個展（一月五日～三十一日）
ギャラリー神戸時代にて

ポートピア'81のあとにくるもの

山田 昇一

（△神戸商工会議所事務理事）



昨年六月、私は神戸市の狩野助役を団長とする、『リガ市訪問神戸市親善使節団』の一員として、訪ソの機会にめぐまれましたが、その途立寄ったモスクワでの強烈な印象の一つに、建設ブームのすさまじさがありました。

翌年に迫った、社会主義国としては史上初のオリンピックに備えて、当モスクワでは、郊外を中心、各種競技場、選手村、ホテル、地下鉄延伸工事等々、大規模な建築工事が急ピッチで進められており、『オリンピックを成功させよう』というモスクワっ子

の意気込みを、ひしひしと感じさせられたものであります。ただこの点に関し、人ごとながら一寸気になりましたのは、わが国でも、オリンピックとかエキスポといった国家的大行事のあとは、きっと大変な不況に見舞われた、ということであります。社会主義計画経済の国だから、わが国とは根本的に事情が異なるとはいうものの、オリンピックが終り、潮が引くよう人々の去った後、ホテルなどはどうなるのか、閑古鳥が鳴くことにならないか、という心配です。この疑問に対するモスクワ市当局の責任者の答は、誠に強気なものでした。言うところによれば、今ソ連でも大変な旅行ブームで、近隣友邦諸国はもとより、ソ連邦内各地から、モスクワ見物、レーニン廟参拝に上京するもの数知れず、しかもこれらの観光客の中で、希望通りホテルに宿泊できるものは二割程度、あと八割は、親戚、友人、知人等、あらゆるつてをたどつての民宿だという。ホテルはいくらあっても足りない、由於はいくらあっても足りない、ということでしたら、果してどんなものでしようか……。

ひるがえつて、八十年代を迎えた神戸に目を転じますと、現在神戸市にとって最大の関心事は、一年余後に迫った、『ポートピア'81』

でありますよう。なにがなんでもこれを成功させ、そしてこれを起爆剤として、地盤沈下が言われて久しい神戸経済の復権へとつないでゆくことが、八十年代のスターにあたり、われわれ神戸市民に課せられた最大課題と申せましょう。幸いにして昨年春、博覧会協会が設立されてから、その施策宣しを得て、ムードは全国的規模で日毎に高まり、観客動員数、出展企業数等も、予想以上が見込まれるまでになりました。こうなればもうしめたもので、博覧会そのものが成功裡に終るであろうことは、信じて疑わないところであります。ところが人間欲が深いもので、一つの閑門をバスすると、すぐその先が気になりだします。博覧会期間中、『ポートピア』、『ポートピア』と草木もなびかせる六〇〇万の人々は、単に博覧会場だけなく、三宮を中心とする商店街にも、大へんな賑わいをもたらすでありますようが、博覧会が終ったとたんに、『宴はてて、寂漠残る』ということになつては、由由しき問題です。

博覧会場跡地利用の問題、或は各種恒久施設の有効活用方策の検討等、『ポートピア'81』のあとにくるものに対する備えは、いくら早くはじめても、早すぎるということはありますまい。

絵草紙源氏物語と 神戸の町のS婦人服 飾店と無関係な関係

岡田 嘉夫
（イラストレーター）

生まれ住んで三十何年、一度も
神戸はいい町だと思った事がなか
った。權威ある美術学校もない。

若いかけ出しの絵かきにはなか
かい仕事は見つからない。安い
貸画廊は少く発表と鑑賞もできな
い。

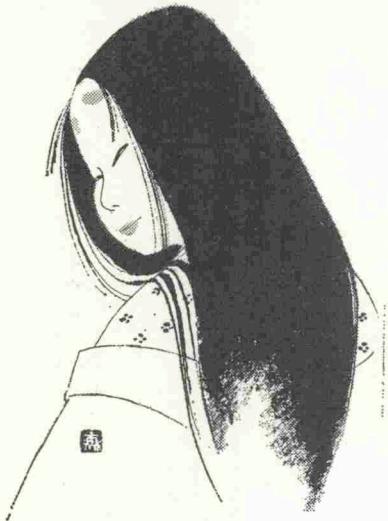
「もう、エエワイツ！」とばかり
戸戸を捨てて、着いた所は東京と
いう町。

住んでみて十年年、これまた、
一度も東京はいい町だと思ったこ
とがなかつた。權威ある美術学校
は多いが、あたり前の答として絵
かきのハンラン。仕事の奪いあい。
立喰いうどんの七味トンガラシも
奪いあい。安い貸画廊では、猫も
杓子も個展を開いていて、いい個
展は、宝くじを当てるように、お
目にかかる。結果、東京に出
たものの都心部に出るのは月一回
ほど。「アホラシ。神戸に住んど
て新幹線で月一回東京へ行つた方
がなんばかトクやつた。」だけど、
何だかんだといってみてもやはり
私は、神戸を一度離れてみて良
かつたのである。

東京を無視すればするほど、今
まで感じなかつた神戸の町が持つ
ている、空氣・センス・氣風等に
敏感になつた。一例だが「絵草紙
源氏物語」に神戸のそれを頗著に
取り入れた。いつも目につく丸丸
前本店のあるS婦人服飾店の広
告が発端である。（タイトルでい
つたように、私とこのS店とは何
の関係もございません）

イタリーシルクプリントである
うか、か一つ目を射る素晴らし
い発色の服を着たモデル写真。顔
の三倍もあるような蝶が肩から胸
へ一つ二つのワンピース。時には
黒地のすっとんとんの
イブニングの上半身に
一輪の巨大なカトレア
が覆いかぶさつたデザ
イン等、ど肝を抜く美
と遊びの感性がそこに
あつた。

「こんなびっくりする
ようなものをスッと売
る町、またこれをスイ
ー



■岡田嘉夫絵草紙源氏物語
語原画展」（文田辺聖子、
角川書店刊）（一月十七日
より二十二日）於・大丸神
戸店4F美術画廊

展は、宝くじを当てるように、お
目にかかる。結果、東京に出
たものの都心部に出るのは月一回
ほど。「アホラシ。神戸に住んど
て新幹線で月一回東京へ行つた方
がなんばかトクやつた。」だけど、
何だかんだといってみてもやはり
私は、神戸を一度離れてみて良
かつたのである。

今までの面白くもない有職故実
の約束事を守つた紋様・くすんだ
色目は、自由に解釈した楽しい華
やいだものになり、登場人物全員、
神戸的センスに染つていつた。

「若紫」の小袖は顔の三倍もあ
る蝶が二つ三つ。「夕霧」の直
衣は巨大な唐草が肩から胸へから
まる。「玉鬘」の单がさねはジャ
ンボな鳥の乱舞。全く既成の源氏
解釈では、開いた口がふさがらな
い時代考証の絵ということになる
でしょう。ともあれ、人が何とい
つても、昭和に生きている私は、
昭和の感性でまた、私が本能的に
持つてゐる私自身の感性が、納得
せずでとらえた私なりの源氏絵の
世界である。これすべて神戸のな
せるワザ。「それ見い、美術学校が
ないなら、画廊がないなら、小ま
いことにモンクつけるもんやあら
へん。神戸の町は、オマエの知ら
ん間に、いろんな感性を教えてたつ
とつたんや、感謝せえ！」

「へエ、オオキニ、オオキニ」

□ある集いその足あと

神戸商工会議所 国際委員会

山本 博男

（神戸商工会議所国際委員長
南山本ビル、南山本商店取締役社長）



テーブルナンバーはくじ引きで。食後の和やかな風景。

月例会です。生みの親は、当時神戸商工会議所の国際委員会委員長であった故小林秀雄さん（当時神戸電鉄社長で、現在の北野町名物“白い異人館”的持主であった）が、外国人と親しくなるためには、靴を脱いだ外国人と神戸人ととの交流の場を創りたいと提唱され、昭和三十四年六月から毎月一回、当時は第三水曜日の正午から一時間半、会費自己負担制で始まつたのです。月例会は正午から三十分間立話をしてもらっていますが、日本語、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語等が入り交つて聞こえ、まことに国際的な雰囲気に入っています。そして、別室で着席をして昼食をとつたあと、各国領事館、航空会社、船会社、国内関係機関等の代表が交代でスパンサーになり映画を上映したり、スピーチをしたりして友好親善の強化、相互理解の促進に努めています。

小林さんは、常日頃、「肩のこらない集まりにするためには、規則づめの会ではない、何のオブリゲーションもない、紹介者さえあれば誰でも入会できるような会を」と口ぐせのように申されそれが一種の伝統となつて、今日に引き継がれています。集まる方達も、はじめの頃は一般の外人が多かつたのですが、このような

毎月一回の国際委員会で、星野、阪神間には四三カ国の外国公館（総領事館、領事館など）があります。この方達や在住の外国人と毎月一回第二水曜日に集まつて昼食を共にしながら、気楽にお話を

する会で、二十年間欠けることなく、この十一月で第二三二回を数えました。アメリカの領事さんとソ連の領事さんが、料理をつつきながら日本語でスキーの話などしている会。それがこの国際委員会

交流機関のない阪神間の外国公館の方達が、いつの間にか積極的に参加されるようになり、現在では先述の全公館の方々が会員で、入れ替り立ち替り参加され、自由主義の外交官も、社会主義の方々も、それこそ本当に膝を付き合わせ歓談をする場になつてしましました。現在、毎月約三〇〇名の方々に案内を出しておりますが、ここ数年毎月の出席者は増加して五十一六十名に達しております。これ以上ふえると会場の収容能力に限界があるので頭を痛めています。当会議所の国際委員会は私をはじめ六名の委員で構成され、来神外人の受入れをはじめ、国際経済親善交流活動を活発に行っていますが、この月例会ほどいい催しはないと出席者各位とくに外国人の方々より好評を博しております。外國公館の方々とシビリアンとの定期的な交流の場としては、全国では神戸だけにしかありません。神戸人として誇つて良いものの一つではないかと自負しています。

創始者であられた小林さんも今は亡く、国際委員長も移り変わってはいるが、現在では私が受け継いでおりますが、この良き伝統を守り、ますます親善の実を挙げたいものと念願している次第です。

オリエンタル レディスクラブ

会員募集中



月例グルメの会：シェフによるメニュー説明

年会費：お一人 5,000円

割引：オリエンタルホテル、六甲オリエンタルホテル
での宿泊、飲食の際サービス料10%割引いたし
ます。その他いろいろの特典がございます。

特別催：随时、会員のための特別催しをいたします。

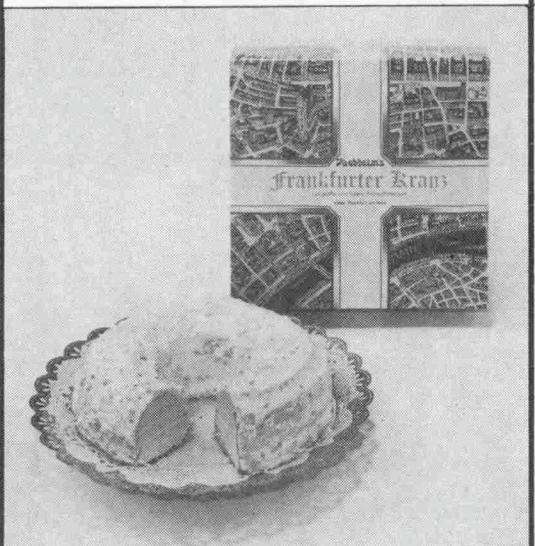
お問い合わせ

オリエンタルレディスクラブ事務局

神戸市生田区京町25 オリエンタルホテル内

☎ (078)331-8111

謹賀新年



ドイツ菓子
Fachheim's
ユーハイム®

このマークをお店でお使い下さい。

本店 三宮 生田 神社前 TEL (331)1694
三宮店 三宮 大丸前 TEL (331)2101
さんちか店 三宮地下街スイーツタウン内 TEL (391)3539
西ドイツ店 フランクフルトゲーテハウス内 TEL (0611)280262

□連載エッセイ／私のひろいもの ▲11▽

今東光 岡惚れふたつの事

竹中 郁 ▲詩人・絵も▽

小説「お吟さま」で直木賞をもらつた後、河内の天台院という荒れ寺にこもつて、せつせと河内の風俗小説をかいていた今東光と大阪で出会うことが多かつた。かれこれ二十五年も前のことだ。

「きみはずつと神戸にいたのだから、こんな人を知らないかな。角田という家だ。一家全部が英語でくらしている家だ。中山手のミカエル教会の近くに住んでいた」。

この質問はすぐその場で解決した。その息子のヒロというのと三宮神社境内の「南国」という茶店で知り合いになつてからだ。「あれは神戸ならではの一家だなあ」。今さんの話では父親が居留地の商館へ出ていて、つまりそれが英語一家ができ上がつたもとなんだ、という。

中山手のミカエル教会は今の相楽園の西南角に道をへだててあつた。ツタのからまつた木造のアメリカ西部にあるような建物だつた。そこらは明治以来ひらけた神戸の代表的な一画で、商館番頭

や船乗りがあこがれた所だつたのだろう。神戸登山会の会長の塚本永堯とか、神戸で最初の舗装道路を国鉄沿いの北長狭通りに造つた浅見技師（これが浅見測や弟の篤の父だ）が住んでいた。

朝早く諏訪山の東寄りの温泉に集つて朝風呂会休みの日は山登り、夏の晩は布引まで足を伸して滝の前の橋のようなテラスでビールを飲んで涼をとる。婦人どうしは自宅で紅茶会をひらいて手製のビスケットを自慢しあう。これが大たい明治から大正へかけての山手界隈のスタイルだつた。

今東光、今日出海の二兄弟もこんな空気を知つてゐるはずだ。浅見兄弟と、うんと時代は若くなれるが川崎芳熊さんが川崎造船所の専務時代ここに住んで、のちの小説家久坂葉子が育つた。妙に小説家を育てたがつた土地といえる。

さて、今東光が私に呼びかけてさがしていた人物は女性であつて、一人は先の英語一家の角田の娘で神戸女学院へ通つていた美人。もう一人は加



納町から下山手通八丁目の親和女学校へ通っていた福井という美人。とにかく、エビ茶ハカマに白リボンというような通学姿にぞつこん惚れて、人生流浪のうちにも忘れられなかつたらしい。

角田のヒロさんに聞いてその姉さんの健在を今東光に伝えたら、いつぺん会いたいもんだが、ペラペラと英語で話しかけられたらこのおれはぐうの音も出ねえや。とべらんめえ口調でぼやいた。

角田のヒロさんは妙に三宮から昔の三角帳場へ抜けるあたりで出会うのがくせだった。ところがこないだは勝手の違うところで会つた。違うのも道理、長年美粧院クラヤの亭主であそんできた

のが、その英語が買われてネッスルの社長秘書として勤めているという。この人が手入れのゆきとどいた犬を引っぱって、神戸の坂道を歩いてあれこれと果物やソーセージを買ってあるいている図は絵になる。「神戸っ子」という題名をつけるにふさわしい絵になる。例の英語で育てた二人の娘さんはどうした、ときくと、二人ともアメリカへ行つてしまた。と少し寂しそうな返事をした。港というものがもつてゐるある哀愁とでもいうべきものを、この人ももつ年頃になつたのだ。

